

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 94

事務事業名	スポーツイベント開催事業
-------	--------------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	市民環境部		
課名	地域げんき課スポーツ振興室		
課長名	出口 孝	内線	186
担当者名	川竹 洋介	内線	187

基本目標		健康でいきいきと暮らせるまち
政策	020102	健康づくりの推進と医療体制の充実
施策		スポーツの振興
関連施策		

会計	一般会計	
款	10	教育費
項	6	保健体育費
目	1	保健体育総務費
事業コード	020000	スポーツイベント開催事業

事業類型	4	ソフト事業(任意)
個別計画		
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者)	市民		
誰(何)に対して事業を行うか			
意図	スポーツイベントの開催により、住民にスポーツを通じた親睦と健康づくりの場を提供し、参加してもらうことで生涯を通じた継続的なスポーツ活動の促進を図る。		
対象をどのような状態にしたいか			
事業概要	市民スポーツ大会、ロードレース大会、陸上カーニバル、市民ウォーク、チャレンジデー、ニュースポーツフェスティバル、市民体力測定会等の市民スポーツイベントを実施する。		
意図を達成するために実施することは何か			
事業期間	年度 ~ 平成	年度	実施方法
根拠法令、要綱等			
国・県補助事業に係る本市単独施策	無		

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
活動指標	① イベント実施数	計画値	7	6	7	7	平成26年度の市民ウォークは国体開催のため、未実施。
		実績値	7	6	7		
	達成度	%	100.0%	100.0%	100.0%		
成果指標	① イベント参加者数	計画値	72,700	73,000	73,300	73,300	平成26年度の市民ウォーク及び市民スポーツ大会中央大会は国体開催のため、未実施。
		実績値	70,172	65,172	68,231		
	達成度	%	96.5%	89.3%	93.1%		
	②	計画値					
		実績値					
	達成度	%					

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	3,076	2,130	3,096	3,293	8,112	3,350	3,350	0
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他	2,360	1,880	2,776	2,973	3,089	2,970	2,970	
一般財源	716	250	320	320	5,023	380	380	
② 人件費(千円)	5,982	3,769	8,148	8,256	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)	0.69	0.48	1.10	1.05	市民スポーツ大会及び市制施行75周年記念事業等の開催	市民スポーツ大会等の開催	市民スポーツ大会等の開催	
時間外勤務(時間)	203	71	195	310				
嘱託等人数(人)	0.05							
フルコスト(①+②千円)	9,058	5,899	11,244	11,549				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	平成27年度以降は、ロードレース大会、チャレンジデーのイベントも本事業内で実施する。それに伴い、事業名称をスポーツイベント開催事業に変更した。 市民大会については、平成25年度から地区対抗種目として追加したソフトバレーボールを普及させるために、ニューススポーツフェスティバルの中で、ソフトバレーボールの体験教室及び大会を実施した。 また、チャレンジデーについては、目標の参加率70%に届かなかったが、8年連続で参加率50%以上を達成し、金メダルを受賞した。
事業が抱える問題・課題等	市民スポーツ大会は地区によっては高齢化や競技離れにより、参加者が減少している。

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	スポーツイベント本来の目的である市民の健康づくりに大いに貢献している。						
有効性	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	市民スポーツ大会等は町内会長会連合会や大村市スポーツ推進委員協議会、体育協会加盟団体等の協力のもとに大会運営を行っており、大会を統率、実施する上で市の関与は必要である。						
効率性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	イベント参加者数の目標は達成出来ていないが、町内や関係各種団体、教育機関、レクリエーション協会、体育協会、スポーツ推進委員協議会等の協力によるイベント実施は、団体・地域間等の交流にもつながっており、スポーツ活動への参加意識には年齢や性別を問わず成果が出ている。						
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	運営費に関しては見直しを行い最小の経費としており、これ以上の直接的な経費の削減は難しい。						
効率性	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	

※事業類型が1～3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入していません。

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	拡充
--------	----

内容 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	市制75周年記念事業として、平成29年度に「大相撲大村場所」と「夏季巡業ラジオ体操」の二つのイベントを開催する。 また、市民スポーツ大会に、試行的にボウリング競技を追加し、市民の参加を促す。
効果 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	市民が参加しやすいボウリング競技を追加することで、参加者の増加が期待される。

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等				内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。